



中川だより



名古屋市立中川小学校

3月号

令和7年3月3日

<https://www.nagoya-c.ed.jp/school/nakagawa-e/>

笑顔いっぱい 夢いっぱい 仲間とともに 輝く明日へ!

「本物に触れる機会を大切に」

いよいよ1年間の締めくくりの月、3月を迎えます。6年生にとっては小学校最後の1ヶ月となります。本年度もたくさんの皆様にお世話になり本校の教育活動は進んできました。校外に出での様々な体験、また外部の人たちに来校いただき本物に触れる機会もたくさんありました。

本物に触れる機会大切にしたい時間です。「教職員だけではとても指導できない専門的な知識・技能を学習することができる」「子どもたちの興味・関心・意欲を高めることができる」「様々な場で活躍している人たちを知ることができる」など子どもたちの成長にプラスになるたくさんのメリットがあります。

本校の教育活動は多くの皆様に支えていただいています。

子どもたちから見ると、大人はみんな「本物」です。たくさんの人たちと接し、また声を掛けられたり、褒められたり、叱られたりすることは成長の過程でとても大切なことです。

保護者、地域の皆様にはこの1年、本校の教育活動に対して、ひとかたならぬご理解とご協力をいただきました。感謝申し上げます。ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

中川小学校長 武藤 敦



自分の仕事を主体的に

2月25日(火)に今年度最後の委員会がありました。これからも日々の活動は続きますが、ひとまずこれで一区切りです。4~6年生は、各委員会の仕事を責任もって取り組んでいたと思います。また主体的に取り組む姿も多く見られました。最近の子どもたちのがんばりを紹介します。



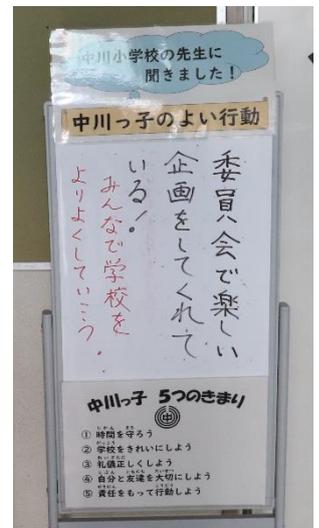
【環境委員の発表の様子】

環境委員は、児童集会で間違い探しやゴミ拾いゲームを通して、環境美化の大切さを伝えました。放送委員は、中川小学校の1年間を振り返るVTRを制作・上映し、みんなの心を温かくしました。図書委員は、朝の時間、各学級で優しい表情と声で読み聞かせをしました。保健委員はクイズラリーやハンカチ・ティッシュチェックを通して、保健意識の向上を目指しました。体育委員はなわとび集会を企画・運営し、運動啓発に努め、給食委員は給食の下膳を丁寧かつスピーディーに取り組んでいます。そして代表委員は、あいさつ運動をがんばっています。

これら委員会活動のおかげで、中川小学校の「当たり前」は支えられています。

よいことを広げよう

今年度の途中から、右のようなボードが中央玄関のところに設置されています。来校時に気付いた保護者の方も多くいるのではないかと思います。中川小学校では、毎月1回、教職員が集まり、生活指導部会を開いています。学校生活を振り返り、改善すべきところを出し合い、共通した指導ができるようにするためのものです。ただ、それだけでなく、できている部分も子どもに伝えたいと思っています。このボードは、その取組の一つです。



【よさを伝えるボード】

「チャイム着席がどの学級もできている」「下校がスムーズになった」「運動場で、元気に遊んでいる友達が多い」「トイレのスリッパがきれいに揃うようになった」「どの学級も牛乳パックがきれいに整とんされるようになった」「委員会で楽しい企画をしてきている」など……

大切な334人もの子どもたちを預かっている以上、悪いこと、改善すべきところは、毅然とした態度で指導する必要が学校にはあります。ただ子どもたちのよいところやがんばりは、積極的に認めていき、それを広げていきたいとも強く思っています。